



物件設置（変更）許可申請書

年 月 日

(あて先) 宇都宮市上下水道事業管理者

宇都宮市下水道条例第24条の規定により関係図面を添えて申請します。

②	申請者 (使用者)	住所	宇都宮市河原町1番41号		
		氏名	山田 太郎	実印	電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
③	受任者 (工事店)	住所	宇都宮市旭1丁目1番5号		
		氏名	株式会社 水道	実印	電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
			代表取締役 水道 太郎 (担当者) 水道 次郎		
④	物件の設置場所	宇都宮市河原町9999-999			
⑤	土地所有者との関係	①. 本人 2. その他			
⑥	物件の設置目的 (変更の理由)	1. (住宅・共同住宅・その他()) 建築に伴う公共下水道接続のため ②. 宅地分譲に伴う公共下水道接続のため 3. (住宅・共同住宅・その他()) 建築に伴う公共下水道接続にあたり、既存公共柵の深さが浅いため 4. その他()			
⑦	物件の名称及び構造	塩ビ製公共柵φ200mm 塩ビ製取付管φ150mm			
	添付書類	1. 施設又は工作物その他の物件を設ける場所を表示した平面図 2. 物件の配置及び構造を表示した図面 3. 申請者が土地所有者以外の場合は、公図・要約書及び承諾書又は売買契約書の写し 4. その他、宇都宮市上下水道事業管理者が必要とする書類			

注. 次の欄は、記入しないこと。

技術担当 次長	所長	副所長	係長	係	受付	月 日	備考
			兼務			第 号	
決定	1. 許可する 2. 許可しない	調査		起案	月 日		
				決裁	月 日		
				通知	月 日	指令第 号	

各項目の説明

①【捨印】

申請者の実印か工事店の代表者印のどちらかを押印

②【申請者】

申請者名及びその方の現住所、電話番号を記載する。実印の押印も忘れずに

③【受任者】

本申請における施工業者名、代表者名、会社の住所、電話番号を記載する
印は角印ではなく代表者印を押印する

④【物件の設置場所】

「柵」の設置地番を記載する（公図上の地番と合わせる）

⑤【土地所有者との関係】

「柵」を設置する土地所有者が申請者と同じ場合は「本人」に○
違う場合は「その他」に○

⑥【物件の設置目的】

該当する番号に○をつける

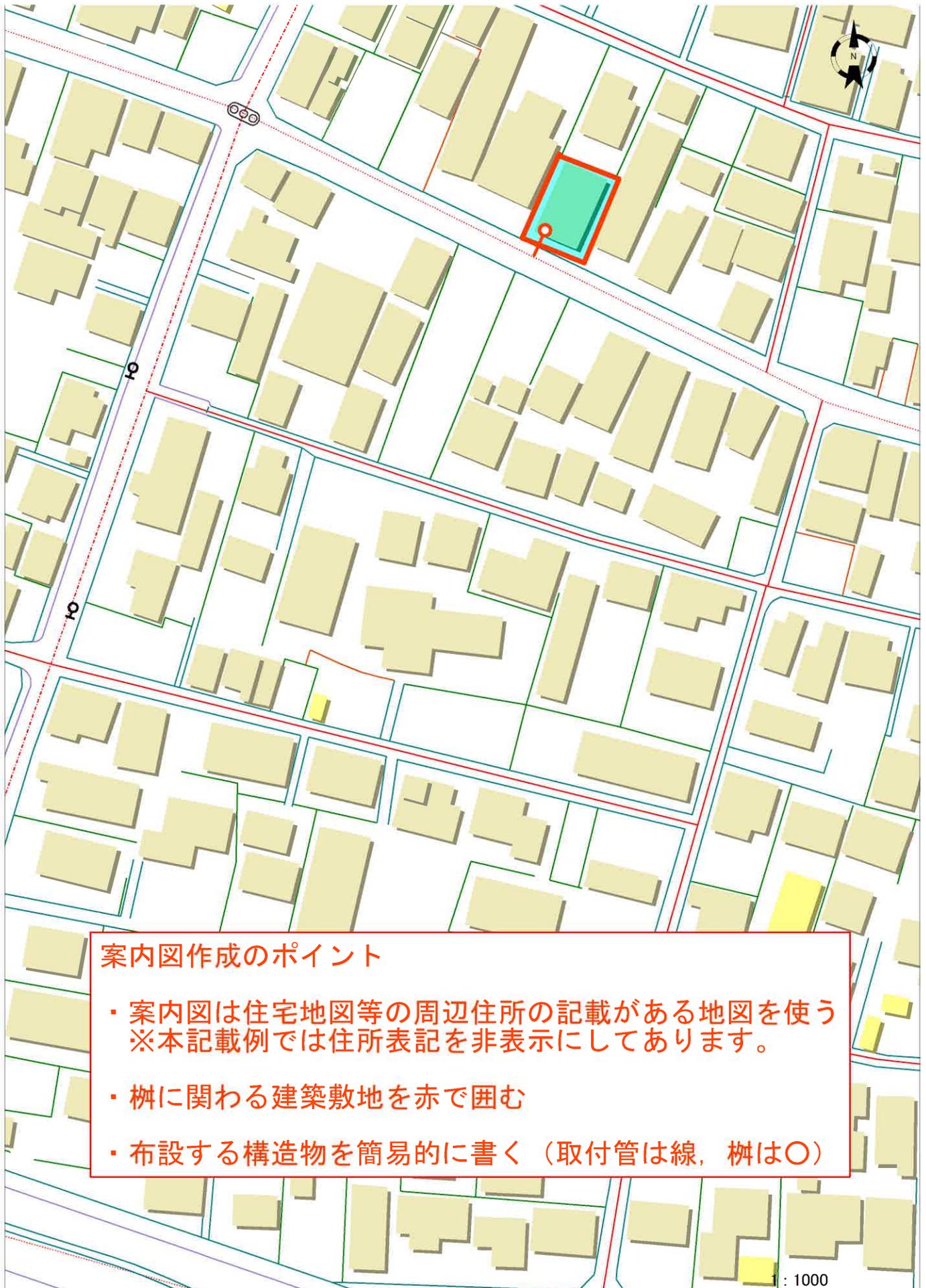
柵の構造変更（コンクリート製公共柵を塩ビ製公共柵に変更）を行う場合は、
4に○をつけ、()内に「コンクリート製公共柵から塩ビ製公共柵に変更」と記入

⑦【物件の名称及び構造】

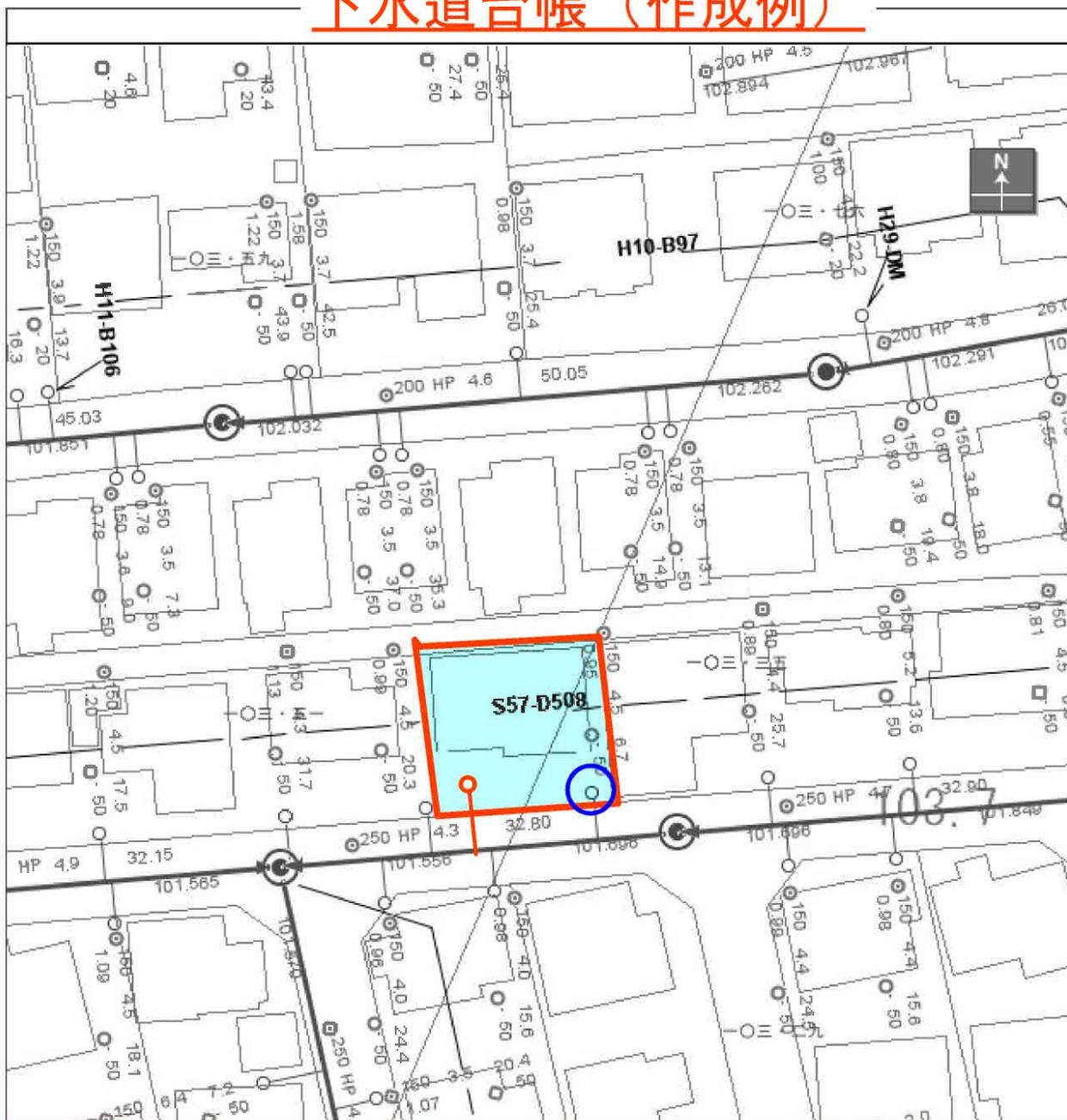
本申請で布設する物件の材質、口径を全て記入

例) 0号MHφ750mm, 塩ビ製取付管φ125mm

案内図（作成例）



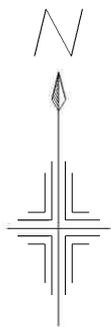
下水道台帳（作成例）



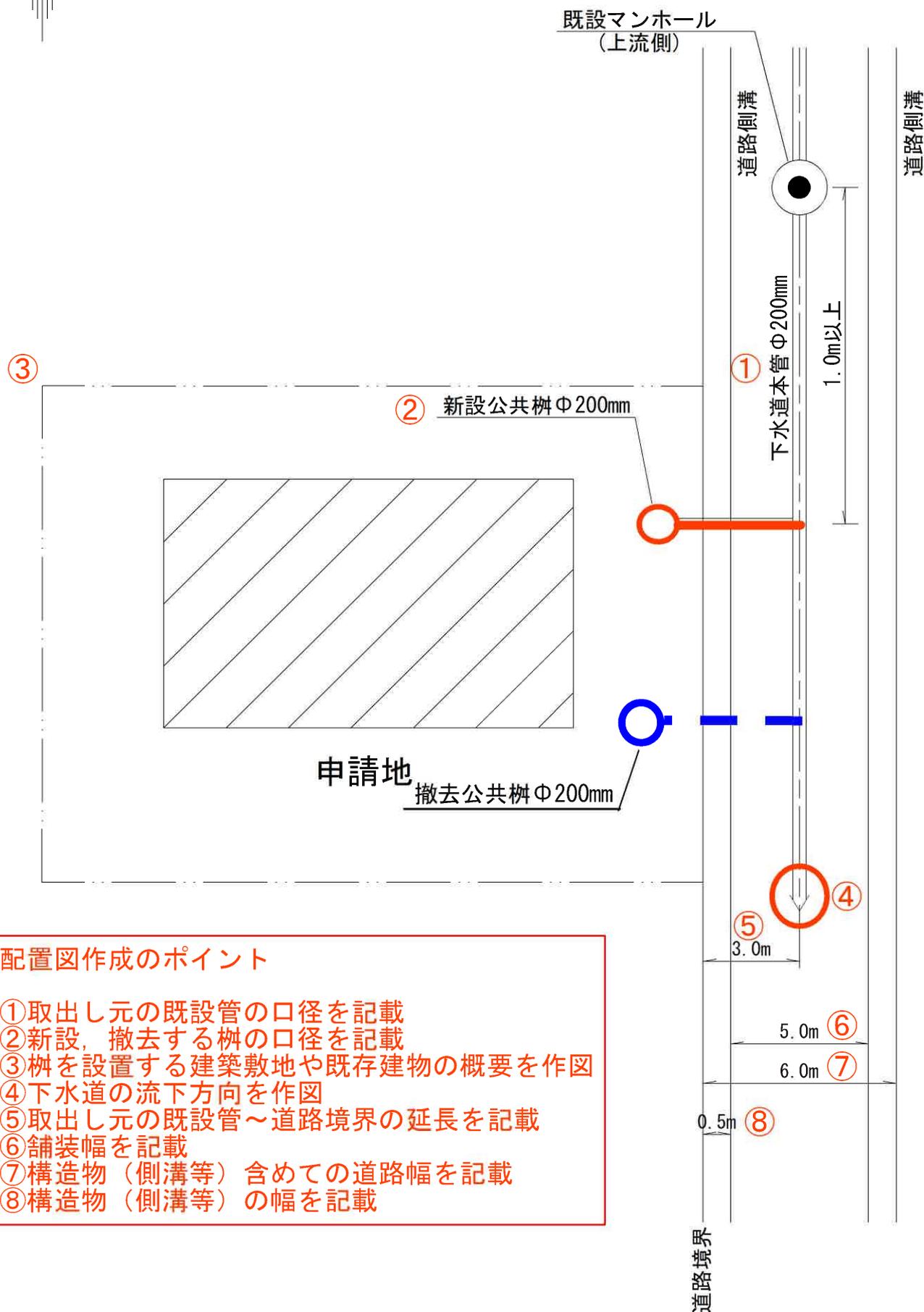
下水道台帳作成のポイント

- ・ 下水道台帳は上下水道局 4 階窓口か、宇都宮市上下水道局ホームページに掲載している「上下水道マップ」で印刷できます。
- ・ 柵に関わる建築敷地を赤で囲む
- ・ 布設する構造物を簡易的に書く（取付管は線，柵は○）
- ・ 撤去，構造変更がある場合，対象の構造物を青色等で囲む

この図面は参考図であり、
下水道施設の所在等を証明するものではありません。
現地調査の上ご利用することとし、
現地と相違があった場合でも一切の責任は負いません。

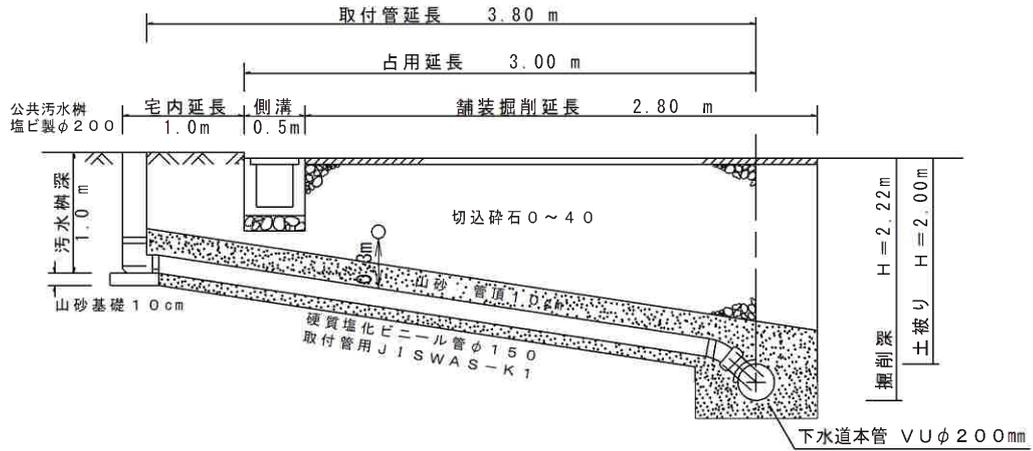


配置図（作成例）

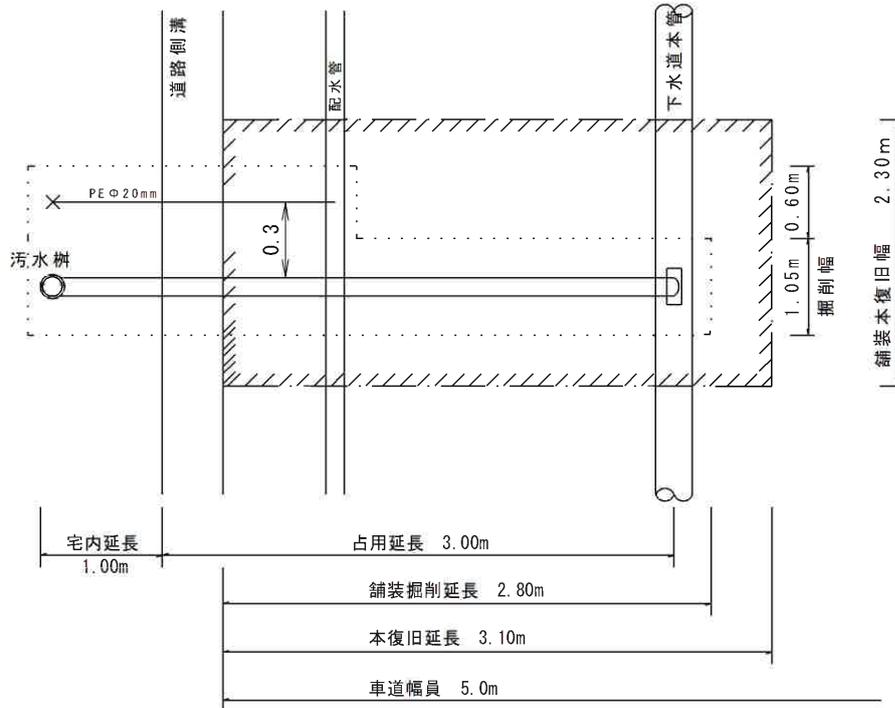


施工図面（作成例）

断面図（新設）



平面図（新設）



断面図作成のポイント

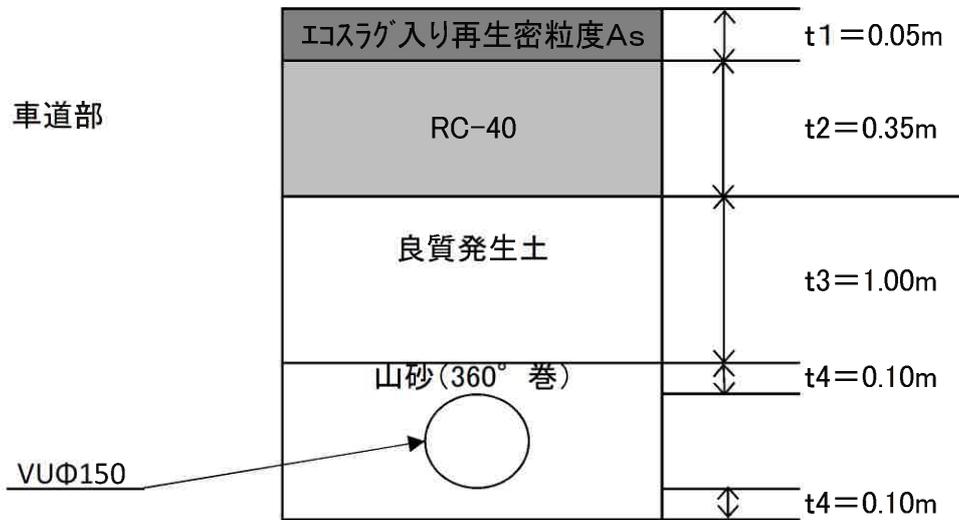
- ・ 取付管延長は本管芯～柵の内側（道路側）
※10.0m以内にすること
- ・ 占用延長は本管芯～官民境界
- ・ 宅内延長は官民境界～柵の外側（民地側）
※1.0m以内にすること
- ・ 防護砂は山砂+10cm
- ・ 柵深は原則0.8m以上
- ・ 構造物（配水管等）を横断する場合、
対象の構造物及び離隔を記載する
※離隔は0.3m以上を確保すること

平面図作成のポイント

- ・ 土留め等を考慮し掘削幅を記載
- ・ 近接する構造物（配水管等）を記載し
平面的な離隔も記載する
- ・ 掘削範囲及び本復旧範囲を記載する

復旧断面図（作成例）

仮復旧断面図



作成のポイント

- ・ 歩道, 車道, 乗入部等, 舗装構成の異なる道路がある場合, それぞれの仮復旧断面図を作成する
- ・ 断面図は, 砂基礎までの構成がわかるように作成する
※深さは位置によって変わるため代表的な位置でよい

断面一覧表（記載例）

II. 道路幅員別仮復旧断面一覧表

本復旧断面区分	掘削場所	表層工 密粒 A S	切込砕石 埋戻厚	既設路面 からの切込砕石 の埋戻厚	交通量区分
A	歩道	3 cm	17 cm	20 cm	———
B	車道幅員 5 m 以下	5 cm	35 cm	40 cm	L 交通程度
C	5 m を超える 道路又は 2 車線道路	5 cm	50 cm	55 cm	A 交通程度
D	バス路線 又は 4 車線道路	5 cm	60 cm	65 cm	B 交通程度

III. 道路幅員別本復旧断面一覧表

本復旧断面区分	掘削場所	表層工 密粒 A S	基層工 粗粒 A S	上層工 A S 安定処理	路盤整正 補足材	交通量区分
	歩道	3 cm	———	———	3 cm	———
B	車道幅員 5 m 以下	5 cm	———	———	3 cm	L 交通程度
C	5 m を超える 道路又は 2 車線道路	5 cm	———	7 cm	3 cm	A 交通程度
D	バス路線 又は 4 車線道路	5 cm	5 m	7 cm	3 cm	B 交通程度

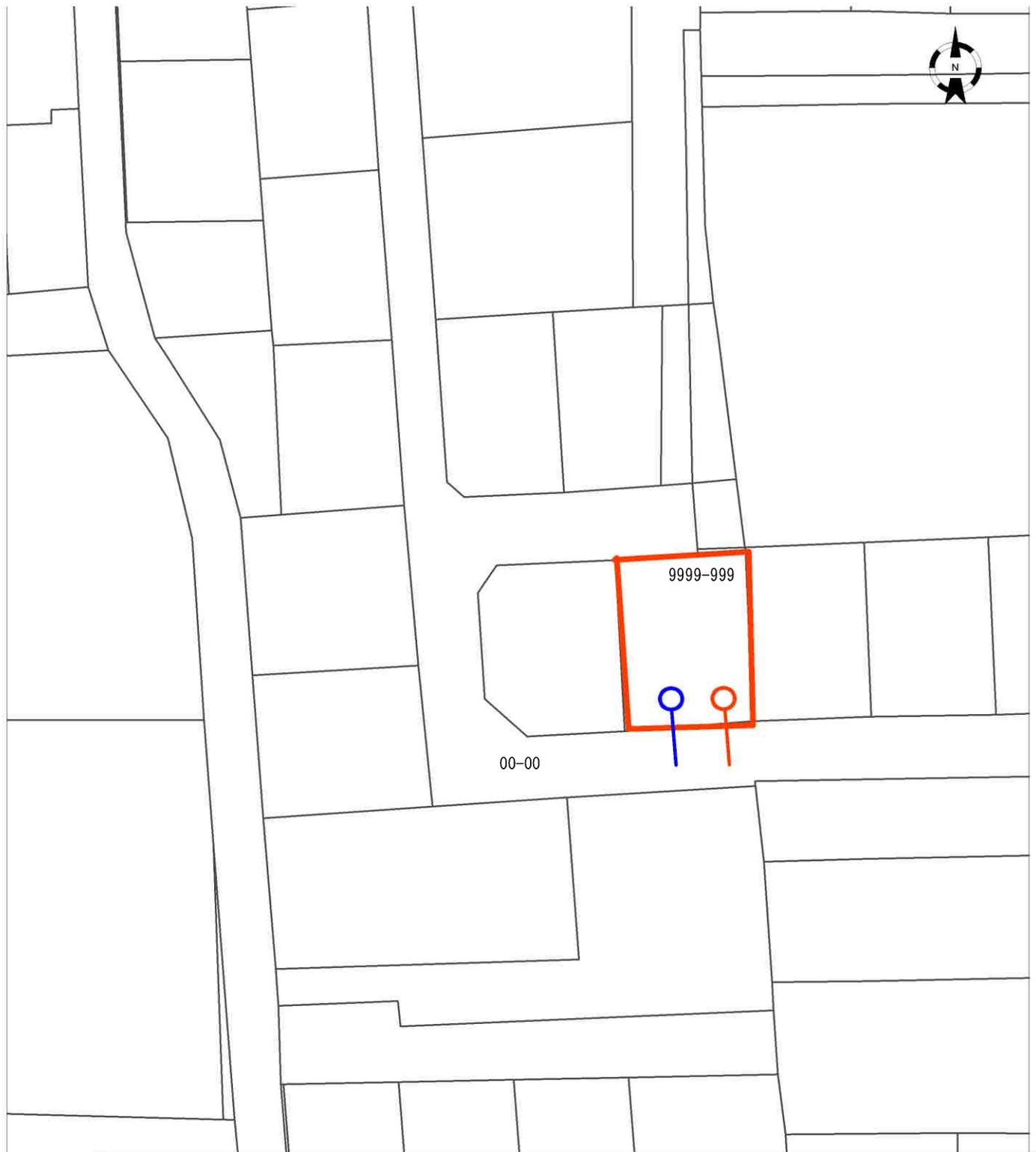
該当する区分に○をつける

1. 仮・本復旧の交通区分は参考であり、現状交通量等を考慮して舗装構成を決定すること。
2. 砂利道の場合は、切込砕石（0～40）にて 20 cm の厚さとする。
3. 「車両乗り入れ部」「区画整理地内」「透水性 A S の路線」については復旧方法が異なるため、

め、

箇所ごとに協議をし決定すること。

公図（記載例）



作成のポイント

- ・ 柵に関わる建築敷地を赤で囲む
- ・ 案内図と同様に布設する構造物を簡易的に書く（取付管は線、柵は○）
- ・ 撤去がある場合は、青色で構造物を書く

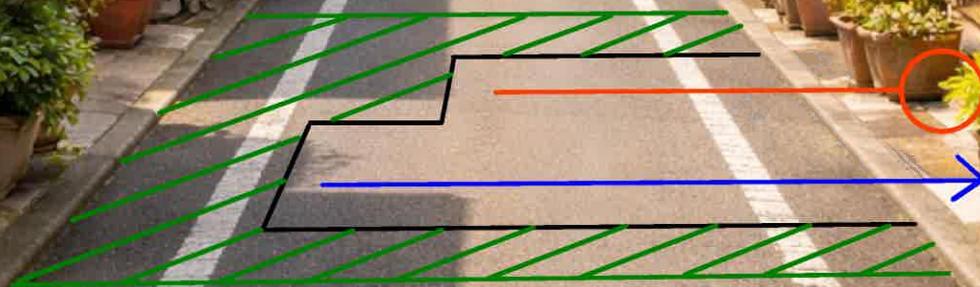
※道路に地番が振られている場合、道路部の登記簿も提出が必要になります

写真（作成例）

現 地 写 真

写真作成のポイント

- ・ 撮影年月日を記載
- ・ 道路全景を撮影（施工範囲も全て写す）
- ・ 布設、撤去する構造物を簡易的に書く
※給水管布設等の同時工事がある場合、その構造物も書く
- ・ 掘削範囲、本復旧範囲を書く



1. 施工場所 ○○町○○番

2. 撮影年月日 令和○○年○○月○○日

3. 施工業者名 ○○○○

承諾書（記載例）

※「物件設置の申請者」と「柵を設置する土地の所有者」が異なる場合



承 諾 書

物件設置の申請者名を記載する

令和 年 月 日

下水道を利用する建築敷地の地番を記載する

(あて先) 宇都宮市上下水道事業管理者

私は、宇都宮市 河原町9999-999 からの汚水を排水するために、
山田 太郎 が私の所有する下記土地を

掘削し下水道施設を布設すること及び以下の条件について承諾いたします。

なお、将来においても、このことについて宇都宮市上下水道事業管理者に対する異議の申し立ては行いません。

1. 下記土地に布設された下水道施設が宇都宮市に帰属又は寄付となった際には、公共下水道施設の維持管理のため、下記土地に立ち入ること。
2. 市の承諾無くして公共下水道の構造の変更及び撤去等の行為は行わないこと。
3. 下記土地の形状、権利等に変動のあるときには事前に市と協議すること。また、土地を取得するものに対し、下水道施設の占用権及び使用権を引き継がせること。
4. 下水道施設布設後に、問題が生じた場合、宇都宮市上下水道局の責めに帰すべき理由によるものではない限り、宇都宮市上下水道局事業管理者に対する異議、苦情等は一切申し立てないこと。

記

土地所有者			所有地の地番
住所	氏名	承諾印	
宇都宮市〇〇町〇〇番〇〇号	下水 太郎		<u>宇都宮市河原町9999-999</u>

掘削、布設する地番を記載する